

令和6年
2024年

12月6日
金曜日

第11611号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料（前納）
年間 82,080円
（税込）

6か月 42,120円
（税込）

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町18-1
TEL03-3663-2011 FAX03-3663-2015

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



第100回広島県畜産共進会冬季「枝肉の部」が開催された……P5

注目のヘッドライン

大手豚肉サプライヤーインタビュー
JA全農ミートフーズ大槻祐吾取締役畜
産生産事業本部長 / 食肉事業統括本部副
本部長
…詳細はP2~3

全農広島県本部が第100回広島県畜産
共進会冬季「枝肉の部」を開催 …詳細はP5

▶ 大手豚肉サプライヤーインタビュー JA 全農ミートフーズ大槻祐吾取締役畜産生産事業本部長 / 食肉事業統括本部副本部長 …… P2~3

▶ 10月末全国牛飼養頭数計384万頭で減少 一 個 体 識 別 記 録 …… P 3

▶ 加古川中畜牛枝共、名誉賞受賞のヒライ牧場牛を太田家が落札 …… P 3

▶ [豚肉調製品輸入通関・10月] シーズンドなど合計9917tで減少 …… P 4

▶ 全農広島県本部が第100回広島県畜産共進会冬季「枝肉の部」を開催 …… P 5

▶ 神戸市場でしまね肉牛共励会開催、松永牧場出品の最優秀牛をヒルノが落札 …… P 6

▶ 大橋商事(株)の大橋進一朗取締役業務部本部長が結婚式を挙行 …… P 6

▶ 【関東の輸入豚肉現物相場】引き続きCは底堅い、Fはベリー中心 …… P 7

▶ 【関東の国産豚肉現物相場】C、Fともにバラやカタロースの荷動き強い …… P 7

▶ 福岡市場、牛副生物価格改定、9日と畜分から…P7

▶ [輸入牛現物相場] 米国産チャックアイロールに逼迫感 …… P 8

▶ 【ブロイラー市中現物相場】量販向けにブラジル産やや活発化 …… P 8

▶ [資料] 日本食肉流通センター週間市況〈輸入牛肉〉 …… P 9

▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数] 5日 …… P10

▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場] 5日 …… P11



りんご和牛
信州牛
登録商標 第1394040号



信州プレミアム牛肉
登録商標 第5282895号 第5282894号



信州牛生産販売協議会

国産牛豚内臓肉、チルドビーフ、チルドポーク卸売



健康と食生活を演出する
ビセラル株式会社

〒123-0864 東京都足立区鹿浜 1-10-20
営業1課 / ☎(03)3899-2374(代) FAX(03)3857-2706
総務 / ☎(03)3853-4411(代) FAX(03)3899-4119

<http://www.visceral.co.jp>

大手豚肉サプライヤーインタビュー

JA全農ミートフーズ大槻祐吾取締役畜産生産事業本部長 / 食肉事業統括本部副本部長

—2023年度の豚肉販売実績、24年度の計画をおきかせください。

23年度の豚肉販売実績は数量で前年比103%、金額で106%と伸長しました。ここ数年の流れをくみ、系統産地からの取扱拡大の要請に応える形で、量販店や生協などに販売を強化したことが功を奏しました。

また、豚肉需要が堅調に推移したこと、円安や現地価格の高騰などから豚肉輸入量が減少し、国産豚肉の需要が伸びたことなど外的環境も販売実績の伸びに大きく貢献。

24年度も、産地からはここ数年同様、取扱量拡大の要望があり、これに応えるべく取り組みます。ただ、一部産地では生産者が減少していること、コスト高により系統での農場建設が思ったように進んでいないこと、さらにこれまで堅調に推移してきた豚肉需要がやや頭打ちになっていることなどを鑑みて、計画では前年並みとしています。

24年度上期は、円安の進行から飼料コスト上昇や輸入豚肉の高騰に加え、豚熱などの疾病や酷暑の影響などから国内出荷頭数が落ち込み需給が逼迫。豚枝肉価格は高値で推移しました。

下期は、国内出荷頭数が復調すること、また輸入豚肉が一定程度入荷される見込みであることから、豚肉需給が緩和する可能性が高いとみています。10月からは飼料価格も一時の高値から若干落ち着いてきました。このような状況の中で、相場は若干緩んでくるものと思われま。

豚肉の末端価格が高騰し、消費者は厳しい状況にあります。生産者も厳しい状況にあることに理解を求めながら、国産豚肉の拡販を図ります。

—販売を強化するブランドや販路は。

これまで同様、系統グループブランドの販売強化を図ります。特長は異なりますが、それぞれの良さがあるので、最大限アピールします。取引先とのブランド作りにも参画していきます。

さらに、飼料米や子実とうもろこしなどの国産飼料を活用し、環境保全や自給率向上につながる取り組みを強化します。一例として、国産飼料米を給与した

豚肉を当社ブランド「豊穰豚」として販売を開始し、外食部門へ拡販していきます。

また、ブランド豚とはなっていませんが、全農グループのハイコープ豚を差別化して販売していきたいと考えています。

販路については、国産豚肉の主要な販路である生協や量販向けの取り組みに引き続き注力します。これに加え、外食産業への販売を強化します。外食分野ではインバウンド需要の増加などもあり、国産豚肉の需要がまだまだ拡大する余地があると考えています。

また、原料納品のみならず、自社加工場で付加価値を高めた商品の提案にも注力します。

さらにこれまでも強化してきたドラッグストア、コンビニエンス・ストアに加え、「JAタウン」などのEコマース事業への販売も強化していきます。

—今後、中長期にわたって取り組むべき課題をおきかせください。

食肉センター（と畜場および加工場）が各地で老朽化しており、建て替え・再編などが避けられない状況となっています。このような状況の中、そのための資金の確保、地域によっては人手不足が大きな課題となっています。

課題解決に向け、全農グループでは、3年前に全農本所（畜産総合対策部）に食肉事業対策室を設置。当社も畜産販売事業を担う立場として、全農グループと共に課題の解決に向け取り組みを始めています。

また、系統の養豚基盤が減少している状況ですが、昨今の建設コストの増加や後継者不足などの問題もあり、農場建設がなかなか進まない現実があります。

現在、系統生産者ならびに系統グループ生産農場から出荷される肉豚を当社が販売しており、今後もこの取り組みを継続していきます。これに加え、今年度



から当社で新設された畜産生産事業本部で、系統関連会社とタイアップして養豚生産基盤の再構築を図り、減少する系統畜産農家の生産補完を行う予定です。

また、個別では対応が困難な社会的課題(自給率向上、地球環境保全、アニマルウェルフェアなど)に

対する商品作りにも注力します。

各種生産コストの上昇により、生産者の事業環境は厳しくなっており、これまでも取り組んできた生産性の向上や事故率の低減などについて、全農グループの協力を得ながら進めていきます。

10月末全国牛飼養頭数計384万頭で減少—個体識別記録

家畜改良センターが発表した10月末の全国牛個体識別記録によると、全国の飼養頭数は383万5195頭(前年同月比2・3%減)と減り、前月比でも5987頭減少した。

品種別にみると、黒毛和種は計176万4009頭(1・4%減)と前年を下回り、前月比でも2396頭の減少。雄(去勢)は63万7917頭(0・3%減)、雌は112万6092頭(2・0%減)となった。また、交雑種は計55万3038頭(0・6%減)と前年を下回り、前

月に比べると2818頭増。雄は28万4194頭(0・7%減)、雌は26万8844頭(0・6%減)となった。ホルスタイン種は計146万2495頭(3・5%減)となり、前月からは5733頭減。雄は17万8607頭(12・3%減)と減少が続き、雌も128万3888頭(2・1%減)で前年割れとなった。また、褐毛和種は計2万2208頭(1・8%減)、肉専用種は計5169頭(53・2%減)で減少となった。

全国の牛の種別・性別の飼養頭数(各月末時点)

年月	ホルスタイン種			交雑種(肉専用種×乳用種)			黒毛和種			褐毛和種			日本短角種	肉専用種	その他	総計
	雄	雌	計	雄	雌	計	雄	雌	計	雄	雌	計				
令和5年10月	203,764	1,311,908	1,515,672	286,257	270,393	556,650	640,037	1,148,533	1,788,570	6,841	15,776	22,617	6,220	11,046	17	3,923,760
11月	201,971	1,307,685	1,509,656	285,465	269,614	555,079	629,700	1,140,420	1,770,120	6,783	15,685	22,468	6,332	10,315	17	3,896,883
12月	200,852	1,306,939	1,507,791	286,460	271,070	557,530	629,730	1,140,313	1,770,043	6,721	15,678	22,399	6,217	9,539	18	3,896,363
令和6年1月	198,711	1,305,655	1,504,366	287,428	271,628	559,056	630,079	1,139,576	1,769,655	6,740	15,778	22,518	6,193	8,942	18	3,893,523
2月	196,052	1,303,241	1,499,293	286,910	272,483	559,393	634,168	1,140,958	1,775,126	6,777	15,778	22,555	6,143	8,272	18	3,893,505
3月	192,489	1,301,217	1,493,706	285,634	271,636	557,270	636,131	1,142,302	1,778,433	6,707	15,638	22,345	6,044	7,633	18	3,888,112
4月	187,878	1,296,548	1,484,426	284,012	269,840	553,852	636,054	1,140,618	1,776,672	6,841	15,706	22,547	6,068	6,969	18	3,873,134
5月	183,446	1,290,553	1,473,999	282,916	267,544	550,460	638,491	1,140,558	1,779,049	6,827	15,679	22,506	6,458	6,290	18	3,861,305
6月	179,256	1,289,891	1,469,147	280,725	265,438	546,163	638,079	1,137,564	1,775,643	6,766	15,597	22,363	6,523	5,689	18	3,848,112
7月	177,655	1,290,083	1,467,738	279,505	264,077	543,582	635,105	1,132,958	1,768,063	6,782	15,594	22,376	6,444	5,282	18	3,836,177
8月	179,918	1,291,518	1,471,436	282,189	267,110	549,299	639,438	1,134,499	1,773,937	6,733	15,504	22,237	6,357	5,198	18	3,851,252
9月	179,024	1,289,204	1,468,228	282,900	267,320	550,220	637,244	1,129,161	1,766,405	6,774	15,491	22,265	6,178	5,190	18	3,841,182
10月	178,607	1,283,888	1,462,495	284,194	268,844	553,038	637,917	1,126,092	1,764,009	6,726	15,482	22,208	5,668	5,169	16	3,835,195
前年比	87.7%	97.9%	96.5%	99.3%	99.4%	99.4%	99.7%	98.0%	98.6%	98.3%	98.1%	98.2%	91.1%	46.8%	94.1%	97.7%

※総計には、ジャージー、乳用種、無角和種、黒毛和種×褐毛和種、和種間交雑種を含む

加古川中畜牛枝共、名誉賞受賞のヒライ牧場牛を太田家が落札

第50回加古川中畜牛枝肉共励会が11月29日、加古川食肉地方卸売市場で開催された。黒毛和種66頭(雌19頭、去勢47頭)、交雑種22頭(14頭、8頭)の計88頭が出品され、このうち名誉賞には兵庫県のヒライ牧場出品牛を選出。同牛はキロ当たり5520円で、神戸市の食肉卸・小売(有)太田家に落札された。

ヒライ牧場の名誉賞牛は31カ月齢の去勢牛で、枝肉重量449kg。格付はA5等級のBMSNo.12。血統は父「忠味土井」、母の父「千代藤土井」

そのほかの入賞牛出品者は次のとおり。

【黒毛和種の部】 最優秀賞 高橋畜産(香川県、3160円、購買者=伊藤ハム米久ホールディングス)、岩国ファーム(山口県、3015円、寺畜)▷優秀賞 川岸牧場(兵庫県、5410円、川岸畜産)、畑正芳(香川県、2820円、寺畜)、大野健作(山口県、2760円、JA全農ミートフーズ)

【交雑種の部】 最優秀賞 近藤政三(香川県、1805円、大浦ミート)

【豚肉調製品輸入通関・10月】 シーズンドなど合計 9917 t で減少

財務省が公表した10月分の貿易統計によると、豚肉調製品の輸入通関量は、カタを原料としたシーズンドポークを含む1602-42-090は、合計9917t(前年同月比1・6%減)と前年同月から減少。前月からは261t増加した。国別にみると、米国が5700t(5・7%増)、メキシコが836t(0・2%増)となったほか、カナダは973t(2・8%減)、デンマークは809t(24・3%減)と減少した。

カタ・モモ以外を原料とした1602-49-290の合計は3027t(24・5%増)となった。国別では、米国が1733t(23・2%増)、中国が870t(16・0%増)、タイが159t(77・4%増)、デンマークが136t(約2・6倍増)となった。

また、表記以外のモモ肉およびこれを分割した1602-41-090は、米国267t、中国92t、タイ60tなど、6カ国から合計452t輸入された。

1602.42-090 カタを原料としたもの

単位:トン

	カナダ	アメリカ	チリ	メキシコ	オランダ	デンマーク	その他計	合計
2023年10月	1,001	5,391	888	834	0	1,069	891	10,075
11月	1,098	5,280	864	681	0	1,359	443	9,725
12月	853	6,229	1,032	1,076	0	1,068	429	10,688
2023年累計	14,418	74,098	8,124	10,415	3,619	14,800	8,578	134,052
前年比	137.9%	86.8%	101.9%	117.0%	42.8%	94.0%	97.5%	92.0%
2024年1月	1,074	5,197	768	593	19	805	549	9,006
2月	998	3,972	744	440	0	732	534	7,420
3月	1,440	3,206	1,224	550	24	1,125	407	7,975
4月	1,292	9,815	863	1,187	0	806	632	14,595
5月	1,637	5,571	864	859	0	928	824	10,682
6月	1,236	6,600	946	571	0	765	295	10,413
7月	1,410	6,549	672	1,231	0	662	207	11,020
8月	1,218	5,272	1,152	988	0	781	207	10,097
9月	1,143	6,001	648	660	0	735	469	9,656
10月	973	5,700	1,104	836	0	809	288	9,917
前年同月比	97.2%	105.7%	124.3%	100.2%	-	75.7%	32.3%	98.4%
2024年累計	12,420	57,882	8,985	7,916	43	8,147	4,413	100,781
前年同期比	99.6%	92.5%	144.3%	91.4%	1.2%	65.8%	57.3%	88.7%

1602.49-290 カタ・モモ以外を原料としたもの、混合を含む

単位:トン

	中国	デンマーク	アメリカ	タイ	オランダ	メキシコ	その他計	合計
2023年10月	750	51	1,406	89	0	109	26	2,431
11月	819	300	1,787	124	47	44	5	3,126
12月	961	246	1,937	100	31	88	10	3,373
2023年累計	8,597	3,180	20,614	1,290	1,149	1,001	230	36,061
前年比	99.8%	108.4%	88.8%	67.6%	79.3%	110.4%	122.5%	92.0%
2024年1月	701	427	2,313	82	0	110	17	3,649
2月	605	157	1,628	95	0	42	14	2,541
3月	601	320	2,378	134	0	88	10	3,532
4月	938	393	1,587	99	16	132	21	3,185
5月	710	316	3,146	138	47	43	24	4,423
6月	779	657	2,417	79	0	76	5	4,012
7月	923	146	1,537	132	0	98	7	2,844
8月	522	487	1,727	94	0	66	24	2,920
9月	580	473	1,205	102	14	108	19	2,502
10月	870	136	1,733	159	14	88	29	3,027
前年同月比	116.0%	264.1%	123.2%	177.4%	-	80.9%	113.6%	124.5%
2024年累計	7,228	3,513	19,671	1,112	90	851	170	32,635
前年同期比	106.0%	133.4%	116.5%	104.3%	8.4%	97.9%	79.2%	110.4%

全農広島県本部が第100回広島県畜産共進会冬季「枝肉の部」を開催

全国農業協同組合連合会広島県本部は3日、広島市西区の広島市中央卸売市場食肉市場で第100回広島県畜産共進会冬季「枝肉の部」(協賛=広島県、広島市、広島食肉市場(株)、公益社団法人日本食肉市場卸売協会、公益社団法人日本食肉格付協会、広島牛特産化促進対策協議会)を開催。記念大会となった共進会には広島牛31頭(雌13頭、去勢18頭、そのほか参考出品2頭=雌・去勢各1頭含む)が出品された。

格付成績はA5が28頭、A4が3頭。厳正な審査の結果、優秀賞5点、優良賞8点が選ばれ、最優秀賞には(株)ひば高原田中牧場の出品牛(去勢、格付A5、枝肉重量577・4kg、ロース芯面積96cm²、バラ厚10・5cm、BMSNo.12、MUFA値52・5)を選出し、競りではキロ当たり3880円(税抜き)で(株)マスカンが落札した。

共進会に先立ち、競り場では日格協広島営業所の名取東所長が審査講評。「全般に肉質が良好なものが多い。最優秀受賞牛はロース芯が大きく、モモ、サシの抜けが良く、切開面も均一にサシが入っており、非常に優れた枝肉であった。各筋肉が充実しており無駄がなく、歩留まり基準値も最も高い」などと評価した。

続いて全農広島県本部の有田勝司畜産部長が「本日の出品牛はいずれも厳しい事業環境の中、和牛の産地を守り、安全で高品質な広島和牛ブランドをお届けするため、生産者が丹精込めて育てた肉牛。購買者の皆さまには歴史ある100回記念大会でもあり、年末商戦に向けて生産者の励みになるよう振るってのご購買をお願いしたい」とあいさつ。活発な取引が展開された。

競り終了後には褒賞授与式が開かれ、全農広島県本部の安藤重孝県本部長が「本日出品された枝肉は質量を兼ね備えた素晴らしいものが多く、関係者の日頃の努力と生産者の卓越した肥育技術のたまもの。また、長年培われた広島和牛の改良の成果が結実したもの。われわれJAグループでは平時からの食料安全保障の確立、適正な価格形成の実現や持続可能な農業に向け、施策の具体化と中長期的な安全な予算の確保が図られるよう、生産現場の実態を



強く訴えていく」

「現在、和牛事業は大変厳しい状況ではあるが、第100回大会を契機に理解を深めるとともに、歴史こそ最大の価値となる時代であることを先週行われた記念フォーラムで再確認した。われわれも関係機関や流通事業者の皆さまと連携しながら広島和牛のさらなるブランド価値創出に向け、血統や歴史的背景を生かしながら国内でのインバウンドを含めた需要拡大はもちろん、輸出拡大にも注力していきたい」などとあいさつ。

続いて審査委員長として広島県農林水産局畜産課の宇田久康参事が「今回の出品牛は肉質が優れたものが多く、100回の節目にふさわしい結果となった。消費者の生活費負担が大きく、和牛需要が低迷する厳しい状況だが、今回のような品質の高い枝肉を安定供給することは広島和牛の付加価値を高め、今後の需要回復に寄与するものと考え」とあいさつした。

褒賞授与では各賞受賞者に表彰状や副賞を贈呈。続いて名誉会長を務める広島県の湯崎英彦知事(代読)があいさつした後、来賓紹介が行われ、授与式を終了した。最優秀賞以外の主な入賞者は次のとおり(格付はすべてA5)。優秀賞2席 藤原牧場(去勢、BMSNo.12、枝肉重量469・6kg、ロース芯面積89cm²、バラ厚7・7cm、2670円、購買者=エスフーズ)▽同3席 橋奥順也(去勢、No.11、510・0kg、85cm²、7・8cm、2660円、マスカン)▽同4席 ひろしま農業協同組合西城肥育センター(雌、No.12、583・8kg、96cm²、9・3cm、2760円、西日本フード)▽同5席 入江ミート(去勢、No.12、489・0kg、83cm²、7・0cm、2600円、マスカン)

神戸市場でしまね肉牛共励会開催、松永牧場出品の最優秀牛をヒルノが落札

「令和6年度JAしまね肉牛枝肉共励会」が4日、神戸市中央卸売市場西部市場で開催された。黒毛和種雌24頭が出品され、このうち最優秀賞には(株)松永牧場出品牛を選出。同牛はキロ当たり3500円で大阪府松原市の食肉卸(株)ヒルノが落札した。

松永牧場の最優秀牛は33カ月齢の雌牛で、枝肉重量458kg。格付A5等級のBMSNo.12。ロース芯面積87cm²、バラの厚さ6・6cm、皮下脂肪の厚さ2・2cm、歩留まり基準値77・4。血統は父「美国桜」、母の父「安福久」、母の祖父「忠富士」

開催にあたりJAしまね畜産部肉牛販売課の那須悦夫課長(写真)は、出席者に謝辞を述べた後、「活発な購買をお願いするとともに、今後とも『しまね和牛』、島根県産牛をご愛顧賜りたい」とあいさつ。

しまね和牛は、早くからモノ不飽和脂肪酸測定に



取り組むなど、霜降り評価のみならずおいしさの向上に着目し、血統や飼料配合についてこだわる産地として知られている。神戸市場は、おいしさへのこだわりがとくに強い買参者が多い市場として知られていることから、しまね和牛が高く評価されている。

そのほかの入賞牛の出品者は次のとおり。

優秀賞 萩牧場(3300円、購買者=ヒルノ)、中国牧場(3010円、村上畜産)

大橋商事(株)の大橋進一朗取締役業務部本部長が結婚式を挙行

京都で食肉小売・卸売事業を展開する大橋商事(株)の大橋秀之社長の長男で同社取締役業務部本部長を務める進一朗氏と山口英雄氏の次女・玲奈さんの結婚式が11月24日、京都市中京区のホテルオークラ京都で挙行された。披露宴には食肉・畜産業界関係者ら約100人が出席し、2人と両家を祝福した。万雷の拍手で迎えられ、進一朗氏と玲奈さんが入場した後、祝舞が披露された。

新郎からのウェルカムスピーチに続き、主賓として伊藤ハム米久ホールディングスの宮下功社長、(株)京都銀行の安井幹也取締役頭取、京都市食肉協同組合の吉岡浩人理事長(株)モリタ屋社長)が祝辞。続いて伊藤ハムの伊藤功一社長が乾杯の音頭を取って懇親に移った。祝宴では新郎の恩師や友人が祝いの言葉を贈った。

最後に2人から両親へ花束と記念品が贈呈された後、両家代表として大橋社長が「本日は年末に向けて何かとご多忙の中、多くの方にご臨席賜り感謝したい。父として至らない部分も多くあったが、皆さまの支えのおかげでここまでこられた。まだまだ若い2人なのでこれからも皆さまのお力添えをお願いしたい」と

謝辞。

進一朗氏は「たくさんの方の祝福の言葉を本当にありがとうございます。



小さな頃から皆さまに支えられてここまでこられたことを再確認した。今日出席いただいた皆さまは2人にとってかけがえのない存在。皆さまへの感謝の思いを一生忘れずに、2人で支えあって笑顔にあふれる家庭を築いていきたい」と感謝の言葉を述べた。

大橋進一朗氏は1989年6月29日生まれ。弟2人と3人兄弟。ノートルダム学院小学校、洛東中学校、洛北高校、追手門学院大学を卒業し、2014年にひかり税理士法人に入社。その後、家業に戻ることを決意し16年にサンキョーミート(株)に入社、17年には伊藤ハムフードソリューション(株)に入社。18年から大橋商事で勤務し、現在は20年11月に稼働開始した南加工センターでギフト部門を担当している。

【関東の輸入豚肉現物相場】引き続きCは底堅い、Fはベリー中心

【フローズン】12月を迎え、イベントなどの需要増加も見込まれるほか、今週末からは関東でも一段と冷え込みが厳しくなる予報も出ており、鍋物商材などの荷動きはさらに強まりそうだ。引き続き量販店などでは解凍スライス品向けの需要は底堅い。一時期に比べるとチルドの需給が緩んでいるが、ベリーなどを中心に引き合いがみられる。

【チルド】入船遅れなどによる全体的な逼迫感^{ひっばく}は解消されつつあるが、依然として需給は比較的締まっている。今週に入って国産相場が高騰しており、この先も底堅い需要が継続するか。引き続きベリーやロインなどの中部位の荷動きは堅調に推移している。

【輸入豚肉現物相場】(関東中間冷蔵庫渡し)

キロ/円(税抜き)

	輸入元	部位	相場	気配
フローズン	米国産	クッションミート	730中心	→
		テンダーロイン	850中心	→
	カナダ産	ショート・ボックス	780中心	→
		ウデ モモ	750中心 750中心	→ →
	デンマーク産	ベリー	910中心	→
		カラー	880中心	→
		ロインMM テンダーロイン	870中心 860中心	→ →
	フランス産	シートベリー	900中心	→
カタロース		880中心	→	
チルド	米国産	ロイン(FLON)	780中心	→
		CCロイン	780中心	→
		ヒレ(船便) 山付ベリー	1,050中心 1,200中心	→ →
	カナダ産	ボックス	820中心	→
		テンダーロイン ベリー	1,100中心 1,150中心	→ →

【関東の国産豚肉現物相場】C、Fともにバラやカタロースの荷動き強い

今週に入って枝肉相場が一気に高騰しており、東京市場では上物価格600円台後半まで上げている。12月に入り、鍋物商材の引き合いもさらに強まっており、引き続きバラやカタロースなどのアイテムを中心に堅調な荷動きが続いている。また、ロインにも引き合いがみられる。半面、ウデやモモといったアイテムの荷動きはやや鈍い。

フローズンは高豚価で凍結回しとなるケースが少ないことなどから全体的に在庫量が少なく、需給は締まった展

開となっている。特にロインやバラなどの中部位は逼迫しており、品薄感が強い。12月はイベントシーズンであり、スペアリブなどにも引き合いがみられる。

【関東の国産豚カット肉相場】

円/キロ

生鮮物		冷凍物	
部位	相場	部位	相場
カタロース	1,050~1,100	カタロース	880~930
ウデ	720~760	ウデ	650~700
ロース	980~1,050	ロース	880~930
バラ	1,050~1,150	バラ	980~1,030
モモ	720~770	モモ	680~730
ヒレ	980~1,080	ヒレ	880~920

福岡市場、牛副生物価格改定、9日と畜分から

福岡食肉市場は4日、12月9日と畜分から牛副生物の仕切価格(消費税抜き、カッコ内は経産牛)を改定すると発表した。国産牛は枝肉重量510kg以上で1頭当たり2万4480円(8670円)から2万6010円(1万200円)に、同510kg未満は1kg当たり48円(17

円)から51円(20円)になる。

同日付で牛肝臓廃棄の控除額(税抜き)についても改める。国産牛は全廃棄で1頭分が5千~6千円。2分の1廃棄で同じく1頭分で2500~3千円。経産牛はいずれも1千~2千円になる。

【輸入牛現物相場】 米国産チャックアイロールに逼迫感

豪州からの入船遅れがあるが、引き合いは部位ごとにバラツキがあり、各部位の在庫についても適正量で推移していることから大きな混乱は生じていない。豪州産チルドはスソ物中心の引き合いに加え、年末

を前にモモ系の動きが良くなっている。相場は前週から変わっておらず、月末までこれを維持する見込みだ。米国産ではショートプレート、チャックアイロールに引き合いがある。特にチャックアイロールは、^{ひっばく}逼迫感も出ており、代替品として豪州産ブランド牛のチャックロールなどを提案している。

フローズンは豪州産ではカウミート中心の取引で市中在庫も逼迫感が出ている。ポイント、ナーベルの動きは鈍い。米国産は全体的に動きが鈍い。

【輸入牛肉現物相場】 円/キロ

		グラス	ショートグレイン
豪州産C	トップサイド	1,250 ~ 1,350	1,350 ~ 1,450
	シックフランク	1,250 ~ 1,300	1,300 ~ 1,420
	アウトサイド	1,250 ~ 1,300	1,300 ~ 1,380
	ポイント	1,300 ~ 1,350	1,350 ~ 1,400
	ナーベル	1,250 ~ 1,300	1,350 ~ 1,400
	ランプ	1,600 ~ 1,700	1,640 ~ 1,900
	クロッド	1,200 ~ 1,250	1,350 ~ 1,450
	チャックロール	1,400 ~ 1,450	1,450 ~ 1,650
	チャックテンダー	1,300 ~ 1,350	1,350 ~ 1,450
	キューブロール	2,600 ~ 2,800	3,600 ~ 3,970
	ストリップロイン	1,850 ~ 2,000	2,000 ~ 2,550
	テンダーロイン	4,150 ~ 4,300	4,450 ~ 5,000
豪州産F	チャック&ブレード	-	-
	ポイント	1,150 ~ 1,250	-
	ナーベル	1,200 ~ 1,250	-
	カウミート	1,100 ~ 1,200	-
F	トップサイド	1,200 ~ 1,350	-
	シックフランク	-	-

		チルド	フローズン
米国産	スクウェアカットチャック	-	-
	ショルダークロッド	1,600 ~ 1,700	1,500 ~ 1,600
	ショートプレート	1,280 ~ 1,350	1,250 ~ 1,350
	ボンレスショートトリブ(チョイス)	5,800 ~ 6,000	-
	ボンインショートトリブ	-	-
	チャックトリブ(チョイス)	3,300 ~ 3,510	-
	ストリップロイン(チョイス)	4,000 ~ 4,500	-
	リブアイロール(リップオン)	4,700 ~ 4,800	-
	テンダーロイン	5,000 ~ 6,000	-
	ステーキレディ	-	-
	チャックアイロール(チョイス)	2,200 ~ 2,300	1,750 ~ 1,850
	同(プライム)	2,400 ~ 2,500	1,900 ~ 2,300

【ブロイラー市中現物相場】 量販向けにブラジル産やや活発化

◇国産物 生鮮モモは最需要期の年末年始に向けジリ高で推移。日経加重平均で710円を上回った。生鮮ムネも400円前後と堅調だが「生鮮モモにつられて値を上げている格好」とみる向きも。冷凍物はおおむねもちあい。量販店なども年始までの仕入れは11月中に完了しているようだ。

物ともおおむねもちあい。国産冷凍モモの品薄から、量販店向けにブラジル産モモ正肉の荷動きがやや活発化。米国産BILは最需要期のクリスマス前に入荷が少なく、値を上げた。

◇輸入物 ブラジル産、タイ産、モモ正肉、カット

ブロイラー現物相場 単位：円/キロ

国産冷凍物	
モモ正肉(産地凍結)	650~670
ムネ正肉(〃)	380~420
手羽モト(〃)	350~390
手羽サキ(〃)	玉なし
砂キモ(〃)	玉なし
ササミ(〃)	420~450

輸入物	
米国産モモ正肉(240gUP)	460中心
米国産ジャンボレッグ(350gUP)	350中心
米国産B I L	450~470
ブラジル産モモ正肉	360~380
ブラジル産モモ角切り	450~460
ブラジル産皮なしモモ正肉	470中心
ブラジル産グリラー(1000gUP)	440中心
ブラジル産手羽サキ(50gUP)	600中心
タイ産モモ正肉	430中心
タイ産モモ角切り(25~30g)	490中心
米国産モモ串	玉なし

[資料] 日本食肉流通センター週間市況 〈輸入牛肉〉

(令和6年11月16日～11月30日)

(単位：キロ当たり円、税込み、重量 kg)

		首都圏					近畿圏				
		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
米国C	チャックアイロール	2,333	2,338	2,591	2,397	11,276	2,419	2,419	2,538	2,445	5,899
	ショートプレート	1,372	1,415	1,565	1,426	42,286	1,328	1,350	1,382	1,350	31,533
	リブアイロールリップオン	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-
	ショートリブボンレス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28
	チャックリブ	-	-	-	-	182	-	-	-	-	-
	ストリップロイン	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-
米国F	チャックアイロール	2,441	2,441	2,722	2,515	2,789	2,160	2,300	2,484	2,321	3,383
	ショートプレート	1,188	1,350	1,350	1,305	9,582	1,188	1,285	1,404	1,287	12,039
豪州チルド	チャックアイロール	1,890	1,890	1,890	1,890	2,593	-	-	-	-	-
	チャックロール	-	-	-	-	-	1,404	1,706	1,706	1,605	10,402
	チャックテンダー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	236
	クロッド	1,458	1,458	1,458	1,458	1,507	1,296	1,447	1,555	1,433	2,460
	ポイント&ブリスケット	1,447	1,458	1,466	1,461	8,875	-	-	-	-	175
	ナーベル&ブリスケット	1,512	1,527	1,527	1,524	1,028	-	-	-	-	156
	チャックショートリブ	-	-	-	-	118	-	-	-	-	-
	キューブロール	-	-	-	-	138	-	-	-	-	17
	ストリップロイン	2,430	2,430	2,430	2,430	3,114	-	-	-	-	-
	テンダーロイン	-	-	-	-	542	-	-	-	-	120
	トップサイド	1,475	1,477	1,496	1,481	8,723	1,534	1,544	1,620	1,562	7,647
	シックフランク	-	-	-	-	24	-	-	-	-	23
	D-ランプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アウトサイド	1,458	1,458	1,458	1,458	1,179	1,404	1,404	1,404	1,404	7,587	
取引重量合計		93,982					81,705				

		中京圏					九州圏				
		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
米国C	チャックアイロール	2,419	2,419	2,419	2,419	1,839	2,419	2,527	2,581	2,514	6,322
	ショートリブボンレス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	チャックリブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
米国F	チャックアイロール	-	-	-	-	-	2,376	2,570	2,646	2,541	3,984
	ショートプレート	-	-	-	-	537	1,296	1,350	1,793	1,405	3,341
豪州チルド	チャックロール	-	-	-	-	192	1,544	1,544	1,544	1,544	1,035
	チャックテンダー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	クロッド	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ポイント&ブリスケット	1,426	1,436	1,436	1,434	1,220	-	-	-	-	322
	ナーベル&ブリスケット	-	-	-	-	77	-	-	-	-	-
	キューブロール	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ストリップロイン	-	-	-	-	96	-	-	-	-	230
	テンダーロイン	-	-	-	-	86	-	-	-	-	-
	トップサイド	1,663	1,728	1,793	1,742	5,370	1,361	1,706	1,793	1,661	1,259
	シックフランク	-	-	-	-	874	-	-	-	-	-
D-ランプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
アウトサイド	-	-	-	-	740	-	-	-	-	-	
取引重量合計		11,031					16,493				

※豪州産の価格はすべてグレインフェッド・ミドル。

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 12月5日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	3,459	2,607	2,378	-	-
		安値	2,427	2,375	2,224	-	-
		平均	2,726	2,476	2,300	1,655	-
	95頭	頭数	71	19	4	1	-
	雌 B	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	2,259	-	-	-
	1頭	頭数	-	1	-	-	-
	去 A	高値	4,244	2,584	2,375	-	-
		安値	2,378	2,178	2,001	-	-
		平均	2,803	2,435	2,296	-	-
	209頭	頭数	159	45	5	-	-
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
-頭	頭数	-	-	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	平均	1,969	-	1,628	1,467	
		15頭	頭数	1	-	9	5
	雌 C	平均	-	-	1,512	1,437	
		4頭	頭数	-	-	2	2
	去 B	平均	-	1,778	1,696	1,538	
32頭		頭数	-	7	20	5	
去 C	平均	-	-	-	-		
-頭	頭数	-	-	-	-		

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜	430	1,115	-	(競り)	(相対)	
売買	430	778	319.0	-	11	61

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,622	2,249	1,680	1,611	-
	B	-	-	1,552	1,083	826
和 去	A	2,648	2,421	2,250	-	-
	B	-	2,020	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	839	789
	C	-	-	-	786	732
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	854
交 雌	B	-	1,839	1,571	1,458	-
	C	-	-	1,513	1,347	-
交 去	B	-	1,808	1,662	1,414	-
	C	-	-	1,436	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	716	823	734	670	647
	安値	670	637	616	432	361
	平均	690	673	649	625	476
	頭数	(4)	(262)	(275)	(107)	(130)
搬入競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
搬入相対	高値	-	-	610	610	-
	安値	-	-	610	505	-
	平均	-	-	610	556	505
	頭数	(-)	(-)	(8)	(2)	(1)

[大阪食肉卸売市場] 12月5日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) []は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,630	2,286	1,912	1,718	-
(頭数)	(20)	(11)	(3)	(2)	(-)
B	-	2,052	-	-	-
(頭数)	(-)	(1)	(-)	(-)	(-)
和 去 A	2,695	2,327	1,881	-	-
(頭数)	(43)	(2)	(4)	(-)	(-)
B	2,265	2,381	-	-	-
(頭数)	(2)	(1)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	1,910	1,816	1,604	1,430	-
C	-	-	1,644	-	-
交雑去 B	1,958	1,718	1,664	-	-
C	-	-	1,560	-	-
豚	-	596	525	495	460

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	12月5日	12月4日	(11月累計)
豚	69,400	67,700	273,400
成牛計	5,230	5,540	21,910
和牛雌	1,250	1,390	5,140
和牛去勢	1,550	1,800	7,050
乳牛雌	900	670	2,660
乳牛去勢	440	590	2,240
交雑雌	520	440	2,080
交雑去	570	640	2,730

[去勢牛B3・2規格 枝肉取引価格] 12月5日

	1,637円	(前日 1,596円)
東京		
	1,664円	(前日 1,641円)
大阪		

[豚・全農建値] 12月5日

上	中	取引頭数	市況
666円	637円	1,251頭	反落

と畜	牛	豚	牛概況	強含み
売買	150頭	139頭	豚概況	反発
	144頭	140頭		

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 12月5日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	594 (594)	- (-)	6,138	-	もちあい
仙台 [中]	611 (578)	386 (519)	422	150	続伸
宇都宮 [地]	654 (671)	634 (657)	1,750	75	下押し
茨城 [地]	668 (675)	645 (645)	1,191	984	反落
群馬 [地]	675 (680)	608 (604)	2,702	460	小幅反落
さいたま [中]	657 (671)	615 (657)	272	274	続落
東京 [中]	673 (678)	649 (647)	1,115	778	小安い
横浜 [中]	669 (673)	648 (628)	667	666	反落
山梨 [地]	670 (650)	640 (596)	151	118	急伸
浜松 [地]	636 (599)	577 (539)	282	34	上伸
名古屋 [中]	600 (616)	573 (573)	964	298	下押し
京都 [中]	587 (607)	565 (595)	73	109	もちあい
大阪 [中]	596 (555)	525 (525)	139	99	反発
神戸 [中]	580 (-)	568 (-)	49	145	-
岡山 [地]	618 (720)	654 (617)	279	329	暴落
広島 [中]	- (631)	- (595)	224	12	-
福岡 [中]	708 (685)	675 (642)	463	100	反発

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 11月28日～12月4日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,713,420 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,129	1,216	1,274	1,197	90,344
うで	702	753	810	754	131,140
ロース	1,034	1,123	1,182	1,118	183,775
ばら	1,134	1,298	1,361	1,272	186,882
もも	721	756	802	755	212,230
ヒレ	1,061	1,131	1,350	1,146	16,656
セット	882	993	1,079	982	892,393

◇近畿圏 総重量 788,407 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,177	1,267	1,332	1,257	59,497
うで	691	737	810	737	130,417
ロース	1,026	1,153	1,268	1,148	117,679
ばら	1,212	1,264	1,351	1,271	136,069
もも	702	734	788	733	165,265
ヒレ	1,080	1,204	1,245	1,174	9,030
セット	876	974	1,068	976	170,450

[食鳥正肉日経相場] 12月4日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (7社) ※休載

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	-	-	-	-
ムネ	-	-	-	-

◇大阪 (3社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	678	732	1,010	11
ムネ	378	429	570	6

[農水省統計情報部食鳥市況] 12月3日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽サ	ササミ
高値	976	619	550	600	650
安値	688	384	290	360	350
平均	731	414	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 470頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

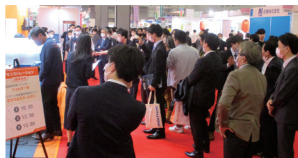
銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、B5判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

■あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男 著
鏡 晃 監

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

■知識を豊かにする

食肉用語事典〈新改訂版〉

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ

牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

牛枝肉・牛部分肉について、各方面のプロに幅広く取材し、「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

◆ステーションナリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町18-1

TEL 03(3663)2011 FAX 03(3663)2015

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995